

# ダイレクトボンディングのメリット・デメリット

## メリット

### 1. 歯をほとんど削らずに、短期間での治療が可能

虫歯や変色した部分をピンポイントで削ることで、歯を削る量を最小限にできます。また、治療期間も通常2~3回と短期間で終了することがほとんどです。

### 2. 細かな色や形の再現性が期待できる

ダイレクトボンディングでは「30種類以上」の色を使用できます。歯の形を作りやすい材質のため、自然な仕上がりが期待できます。

### 3. 耐摩耗性・強度・硬度に優れる

微小なナノフィラーやナノクラスターを高密度に用いた材質のため、耐摩耗性・強度・硬度に優れます。

### 4. 破損しても修復が容易

樹脂を積み重ねていく手法のため、経年劣化により破損した場合でも容易に修復可能です。

### 5. セラミック治療より低価格

セラミッククラウンに比べると部位によっては半額以下での治療が可能です。

## デメリット

### 1. 変色の可能性もある

経年劣化により着色や変色は起こり得ます。その際は、リペア処置を行うことで艶や形を取り戻せます。

### 2. 耐久性はセラミックに劣る

強度には優れていますが、セラミックに比べると劣ります。そのため、噛み合わせや歯ぎしりの強い方にはお勧めできない場合もあります。

### 3. 歯科医師の技量により仕上がりが左右される

歯の色や形の選択は重要な要素になるため、仕上がりは歯科医師の技量に左右されます。